

現代社会文化研究科
現代社会学専攻(修士課程)

地域創造 コース

地域に寄り添い、
持続的な社会を
創造する



地域の新しい価値を発見し、 社会の発展に貢献できる力を養う

人口減少・超高齢化、地域間格差が進展するなか、どのような地域社会の構築をめざすのか。地域創造コースでは、都市・地域計画学、住居学、観光学といった学際的な観点から、地域文化資源の理解、コミュニティ再生、観光まちづくりといった実践型の研究を通して、現代社会の根源的課題に取り組みます。地域に潜在する資源・価値を再発見し、持続的な地域社会を創造するための思想と技術、その基盤となる「知」を探究します。

大学院 現代社会文化研究科

現代社会学専攻(修士課程)

- ・現代社会コース
 - ・地域創造コース
- }
 - 〈地域政策領域〉
 - 〈観光領域〉
 - 〈計画・デザイン領域〉

国際教養学専攻(修士課程)

- ・国際コミュニケーションコース
- ・国際日本学コース

地域創造コース

講義一覧
(2023年度)

- 全研究科共通科目
- ・ Academic English 特論

- 現代社会学専攻共通科目
- ・ 現代社会学総論
- ・ 社会調査法演習

地域創造コース専攻科目

- ・ 地域政策特論
- ・ 都市政策特論
- ・ 住宅政策特論
- ・ 観光政策特論
- ・ 観光資源研究
- ・ 観光行動研究
- ・ 観光産業研究
- ・ 都市計画研究
- ・ 生活空間研究
- ・ 地域コミュニティ研究
- ・ 地域デザイン研究
- ・ 地域創造事例研究

- ・ 地域文化継承研究
- ・ 文化資源活用研究
- ・ 居住環境研究
- ・ 災害復興研究
- ・ 地域創造学文献研究

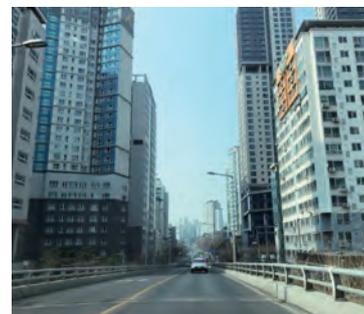
研究指導科目

- ・ 研究演習 I ~ IV
- ・ 修士論文

計画・デザイン領域

一人ひとりの尊厳を保障する
生活空間を創造する

災害、貧困、紛争、疫病など厳しいリスクに向き合いながら、安定した居住をいかにデザインできるか。国内外のフィールドに繰り返し足を運び、そこに住まう人々の多様な声を通して公正な社会と空間のあり方を探究します。



研究紹介

災害復興過程における居住地再生の課題

田中 正人 教授

災害は、多かれ少なかれその土地の人びとの生活をゆさぶる。ダメージは経済的、社会的、身体的に脆弱な人ほど深刻である。いかに彼らの居住の安定を確保すべきか。そしてまた、災害リスクはいかに分配をされるべきか。阪神・淡路大震災、東日本大震災、福島第1原発事故災害をはじめ、甚大な被害がもたらされた国内外の被災地を対象に、当事者一人ひとりとの対話を通して、生活変容を長期に渡る実証的研究を実践している。



研究紹介

住宅とケアの一体的供給の可能性

葛西 リサ 准教授

住宅問題は、世帯の形や社会構造の変化に強く影響を受ける。よって、住宅を取り巻く研究対象は、単なる適正家賃分析や物理的な質の評価だけではなく、人間が生きていくうえで欠かせない育児や介護といったケア、更には、孤立を抑止する地域とのつながりなど、ソフトウェアにまで広がっている。これを具現化する一手法として、住宅とケアの一体的供給の可能性についてシェアハウスなどを対象にその効果の検証を行っている。



地域政策領域

都市政策に重点を置き、「都市居住」「都市景観」「災害復興」「都市農村関係」のあり方を問う

コミュニティや空間の視座から実践的な研究を行い、持続可能な都市づくりに貢献できる人材を育成します。多様性を重視した新しい都市政策を積極的に提言するため、研究手法においては学際的かつ実践的なアプローチを採用するとともに、公的機関だけでなく、民間事業者やNPO、地域自治組織との協働や国内外の研究者との共同セミナーの開催等を進めます。



研究紹介

環境を重視した都市政策のオルタナティブを探る

井上 典子 教授

気候変動や生物多様性保護など、都市が新しい都市問題に直面する現在、都市政策のオルタナティブなあり方が模索されるようになってきている。北イタリアの大都市圏とこれを構成する自治体を対象に、都市再生、環境再生、都市と農村とのつながり、中小都市のネットワーク形成、広域行政化と地域自治組織などの観点から、都市開発を抑制し都市環境を重視する大都市圏都市政策のあり方について検討を行っている。



研究紹介

居住貧困問題を払る政策を構想する

田中 正人 教授・葛西 リサ 准教授

日本の都市計画は戦前以来、住宅政策と切り離され、住宅政策は福祉政策と徐々に溝を深めてきた。住まいをめぐる問題の多くは、こうした政策的分断のもとで放置され、あるいは自己責任の範疇へと回収されてきた。社会格差の拡大と貧困の深刻化をいかに止めるか。都市・住宅・福祉を貫く政策のあり方を探求する。



観光領域

地域課題解決に資する
観光の新たな価値を探求する

観光の経済効果が注目を集める一方で、オーバーツーリズムに伴う地域資源や住民生活の毀損も深刻です。学際性を強みとする観光学では、「持続性・多様性」の観点から現代社会と地域が直面する問題解決に迫ります。



研究紹介

創造された地域文化を いかに次世代につなぐのか

吉田 佳世 准教授

祭り・儀礼・舞踊などの地域文化が観光実践を通じて創造・再創造されることは、もはや前提となつて久しい。では、創造された文化はどこへ向かうのか。観光従事者のみならず女性や世代差など地域に暮らす人びとの多様性に目を配りつつ、地域文化が再帰的に継承されていく過程に注目する。



研究紹介

観光を通じた地域課題の 解決 / 緩和を目指して

間中 光 講師

地域社会が抱える課題に対し観光はどのような貢献ができるのか。ダークツーリズム、ボランティアツーリズム、コミュニティ・ベースド・ツーリズムなど多様化する現代観光の動向を踏まえつつ、インドネシアの被災地を事例に、観光と地域社会の関係性について分析している。



研究紹介

地域振興策として 観光産業の可能性

安本 宗春 講師

地域振興の方策として観光産業が、どのような関わりや役割があるのか。観光交通や福祉観光、コンテンツツーリズムなどをテーマとし、観光客の動向や商品・サービスなどの企画提供などの受け入れ態勢を踏まえ、経済性や社会性の観点から観光産業について分析している。



教員紹介

2023年4月現在



井上 典子

教授 Dottore di ricerca (Ph.D.)
pianificazione territoriale e urbana

専門分野

**都市地域計画学、
景観保全論**

著書に『イタリア現代都市政策論 都市—農村関係の再編』、共書に『イタリア都市再生の質的検証—新しい近接性の形成に向けて』など。日本計画行政学会論文賞(2008)、The European Journal of Creative Practices in Cities and Landscapes(CPCL) : peer-reviewed journal published by the University of Bologna and by TU Delft, Scientific Committee



葛西 リサ

准教授、博士(学術)

専門分野

居住福祉学、住宅政策論

著書に『母子世帯の居住貧困』、『住まい+ケアを考える—シングルマザーシェアハウスの多様なカタチ—』、『13歳から考える住まいの権利・多様な生き方を実現する「家」のはなし』など。住総研・研究選奨(2016)、都市住宅学会、奨励賞(2009)、論文賞(2019)他受賞。



間中 光

講師、博士(観光学)

専門分野

観光社会学、地域研究

共著書に『アフターコロナの観光学：COVID-19以後の「新しい観光様式」』、論文に『観光のレジリエンスを再考する—自然災害・感染症拡大に対するムラピ山住民の生存戦略を手がかりに』『観光をめぐるブリコラージュ実践とダークネス：インドネシア・ドーム型復興住宅群における観光活動を事例に』など。



田中 正人

教授、博士(工学)

専門分野

都市計画学、災害復興論

著書に『減災・復興政策と社会的不平等—居住地選択機会の保障に向けて』、共著に『これからの住まいとまち』、共訳書に『レジリエント・シティ—現代都市はいかに災害から回復するのか?』など。住総研・研究選奨(2013)、復興デザイン会議・最優秀論文賞(2022)他受賞。



藤田 武弘

教授、博士(農学)

専門分野

**農業経済学、
都市農村交流論**

著書に『食と農の変貌と食料供給産業(編著)』、『現代の食料・農業・農村を考える(編著)』、『都市と農村(編著)』、『地域産業複合体の形成と展開(編著)』、『ホスピタリティ入門(共著)』など。日本農業市場学会・奨励賞(1997)、地域農林経済学会・特別賞(2006)など。



安本 宗春

講師、博士(生物資源科学)

専門分野

観光学

共著書に『観光と福祉』、『地域創造の国際戦略地方と海外がつながるレジリエントな社会の構築』など。株式会社旅工房、株式会社チックトラベルセンター、東北福祉大学非常勤講師を経て現職。サービス介助士、総合旅行業務取扱管理者。



吉田 佳世

准教授、博士(社会人類学)

専門分野

社会人類学、民俗学

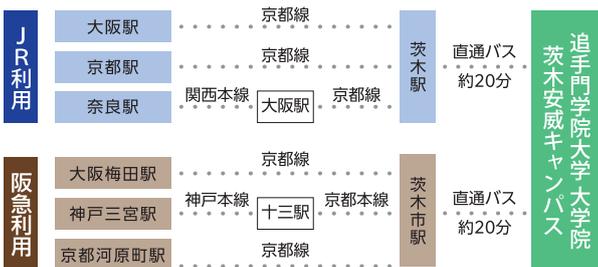
論文に『沖縄社会における祖先祭祀と子育ての近接性に関する人類学的考察』(『追手門学院大学地域創造学部紀要』2022)、『沖縄における嫁と娘：祖先祭祀における女性の地位の獲得性に着目して』(『文化人類学』2015)、共著に『応援の人類学』(第3章)、『国際社会の中の沖縄・奄美』(第4章)他。



ACCESS 茨木安威キャンパスへの交通アクセス・交通機関(電車/直通バス)



電車



直通バス

JR茨木駅と阪急茨木市駅から直通バスを運行。
また、大阪モノレール宇野辺駅から徒歩でJR茨木駅直通バスのりばを利用できます。直通バスは大学構内まで乗り入れています。



現代社会文化研究科
現代社会学専攻
地域創造コース

お問い合わせ

〒567-8502 大阪府茨木市西安威2丁目1番15号
TEL: 072-697-8150
<https://www.otemon.ac.jp>